

鯖江市総合戦略 体系図

<p>基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶひ度が遅い 赤字:後退している</p>	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
<p>若くて元気なまちの創造</p> <p>【成果指標】・・・H31年度に</p> <p>・出生数 610(H27-31の平均) 582(H27-30の平均) 620(R2-R6の平均)</p>	<p>安心して結婚・出産・子育てができるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯未婚率50歳未満未婚率の増減 ・子育て支援に満足している人の割合 ・待機児童数 ・放課後児童クラブ数(公立) ・放課後児童クラブ数 ・子育てサポーター登録者数 ・子育てサポーターの活動率 	<ul style="list-style-type: none"> % (5年前比) % 人 箇所(累計) 箇所(累計) 人(累計) % 	<ul style="list-style-type: none"> +4.2 (H27年度) 74 (H26年度) 14 (H29年度) 18 (H26年度) 32 (H30年度) 82 (H26年度) 90.6 (H29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> +3.0 (R2年度) 80 (R1年度) 0 (R1年度) 22 (R1年度) 0 (H29年度) 130 (R1年度) 92 (R1年度) 	<ul style="list-style-type: none"> +4.2 (H27年度) 72.7 (H30年度) 0 (H29年度) 21 (H30年度) 32 (H30年度) 114 (H30年度) 89.5 (H30年度) 	<ul style="list-style-type: none"> +3.0 (R7年度) 80 (R6年度) 0 (R6年度) 35 (R6年度) 130 (R6年度) 90 (R6年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出会い交流等のサポート ・出産・子育ての負担軽減 ・子育て環境の整備 ・(再掲)ワーク・ライフ・バランスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・出会い交流サポート事業 ・多世代同居・近居リノベーション推進支援事業 ・(再掲)子育て世帯・移住者住まい支援事業 ・多子世帯の経済的負担軽減事業 ・子ども医療費助成事業 ・子育て世代包括支援センター整備事業 ・母子保健事業(こんにちは赤ちゃん等) ・認定こども園整備推進事業 ・保育士確保・質向上事業 ・公私立保育所運営事業、私立保育所特別保育等推進事業 ・児童クラブ運営事業 ・子育て支援センター運営事業 ・地域で育む子育て支援ネットワーク事業 ・子育て応援メール配信事業 ・(再掲)シェアリングエコノミー推進事業 ・(再掲)ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・(再掲)中小企業の子育て・介護応援事業 ・家庭育児応援事業
	<p>学力・体力日本一のまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと思う児童・生徒の割合 	<ul style="list-style-type: none"> % 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 89.7 中学校 84.6 (H26年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 91 中学校 87 (R1年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 93.5 中学校 94.0 (H26年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 91 中学校 87 (R6年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育環境の充実 ・食育の推進 ・学校図書館の充実 ・スポーツ環境の充実 ・文化活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・(再掲)教室用IT機器整備事業 ・学校生活・学習支援員配置事業 ・学校給食での地場産品活用事業 ・学校給食炊事支援事業 ・子どもの読書活動支援事業 ・体育大好き支援事業 ・スポーツ少年団活動支援事業 ・総合型地域スポーツクラブ活動推進事業 ・トップアスリートとの交流指導事業 ・体操のまち推進事業 ・駅伝のまち推進事業 ・吹奏楽のまち推進事業 ・まなべDEわくわく!!アートフェスタ開催事業
	<p>生涯現役で生涯青春のまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気生活率(全高齢者に占める介護認定を受けていない人の割合) ・地域見守り体制の整備率 ・高年大学活動参加者数 ・公民館の年間利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> % % 万人 万人 	<ul style="list-style-type: none"> 83.1 (H27年度) 38 (H26年度) 2.7 (H26年度) 46.1 (H26年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 83 (R1年度) 100 (R1年度) 3 (R1年度) 50 (R1年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 83.6 (H31年度) 86 (H30年度) 3.7 (H30年度) 39.3 (H30年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 81.0 (R6年度) 100 (R6年度) 4 (R6年度) 45 (R6年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいつくりと社会参加活動への支援 ・健康づくりと積極的な介護予防の推進 ・誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり ・高齢者・シニアの雇用対策 ・生涯学習体制の充実 ・生涯スポーツの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ支援事業 ・介護支援サポーターポイント事業 ・鯖江市シルバー人材センター支援事業 ・高年大学運営事業 ・(再掲)介護支援サポーターポイント事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業 ・フレイル予防事業 ・介護予防人材養成事業 ・食生活改善推進事業 ・データヘルス計画推進事業 ・特定健診・特定保健指導事業 ・ご近所福祉ネットワーク活動推進事業 ・(仮)まちなか福祉スペース設置事業 ・地域包括ケアシステム構築推進事業 ・認知症総合支援事業 ・在宅医療・介護連携推進事業 ・生活支援体制整備事業 ・(再掲)鯖江市シルバー人材センター支援事業 ・生涯学習推進事業 ・(再掲)高年大学運営事業 ・スポーツ出前講座事業 ・(再掲)総合型地域スポーツクラブ活動推進事業

鯖江市総合戦略 体系図

<p>基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している</p>	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
<p>若くて元気なまちの創造</p> <p>【成果指標】・・・H31年度に</p> <p>・出生数 610(H27-31の平均) 582(H27-30の平均)</p> <p>620(R2-R6の平均)</p>	<p>安心して結婚・出産・子育てができるまち</p>		<p>・結婚年齢で男性より女性が多いことを改善 ・保育環境の充実(3歳以下の子供の受け入れ改善) ・子どもが遊べる施設の誘致 ・晩婚化・未婚化の解消に向けて、いろんな意見を聞き、若者の理想と現実のギャップを埋める ・まともに食事がとれていない子供がいる(ここにいないでもいい。県外に行きたいという子どももいる)</p>	<p>・共稼ぎが多く、子育てを人任せにしている。中学・高校生からの意識を変えないといけない。</p>	<p>・今の収入で子どもを2~3人なんて産めない。 ・女性も活躍できる場をもっと提供しながら子育ても出来るとよい。</p>	<p>・祭日、祝日に子ども預かってくれる窓口をどこか1か所設けてほしい。 ・子供が病気になったときにも安心して預けられるといい。 ・保育所で子供が病気になると急ぎよ親が迎えに行かないといけないが、代わりに迎えに行ってくれるとよい。 ・YEGの総会時等に夜でも子供を預かってくれる窓口があるといい ・子育て支援センターで保育士さんを派遣してくれるそうだが、知らないで周知するべき ・企業が子供を預かる仕組みを作れば、働ける女性が増えるのではないかと思うが、中小企業で設けるのは困難だし怖い。商工会議所や組合で設け、会議所等の会員になれば子供を見てもらえるとPRすると良いのではないか。 ・子供が遊べるメガネーランドがあるといい(小松の歌舞伎ランドを参照)</p>	<p>・子育てを優遇すると、子どもがいっぱいになるという話も聞くが、出生数を目標値にまで引き上げるには相当な予算を要するので、国政として取り組まないといけない。</p>
	<p>学力・体力日本一のまち</p>		<p>・学力・体力日本一を支えている教員に無理がかかっている。教員が幸せと感じているかを指標にする ・福井は宿題が多すぎる。福井らしい教育(やりたいことを見つけることに敏感になる教育、田舎ならではの経験値を得る教育)を</p>				<p>・5~10年後には片上など東部で小学校の統廃合の話が出てくる。</p>
	<p>生涯現役で生涯青春のまち</p>			<p>・平均寿命、健康寿命が延びる中、高齢者のワークシェアを考え、若者の働きすぎの解消を図ることが必要。介護分野などきつくて人材が不足しているところでワークシェアすれば若者が助かるし、高齢者の元気にもつながる。</p>	<p>・退職後、アルバイトを始めて充実している。ボランティアだけでは続かない。生活していかないといけない。収入がないと発展していかない。 ・高齢化率よりも健康寿命が大事。健康な高齢者が多ければ働く人が増えるし医療費もかからない。</p>	<p>・人材不足に対して、元気なシニアを活用すれば、元気なシニアが取り合いになり、再雇用の斡旋、カーシェアなど移動手段の創出、新規のビジネスにつながるのではないかと。さらに、シニアを助けるビジネス(電球取替え、リモコン操作説明など)も展開できるのではないかと。</p>	

鯖江市総合戦略 体系図

	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
その他全体に関わる内容	<ul style="list-style-type: none"> 女性のエンパワーメントを地域のエンパワーメントに 【国の新たな視点】SDGsを原動力とした地方創生 【国の新たな視点】女性、高齢者、障がい者など誰もが活躍できる社会 【国の新たな視点】Society5.0の実現に向けた技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を認める。人権を尊重する 弱者(障がい者、外国人)も住みやすい移動手段や教育を担保 未婚の中年男性、外国人の女性が抵抗なく地域行事に参加できる環境 魅力あるまちであるためには、鯖江のようにデメリットを恐れず尖った事業を開拓することが必要 女性の活躍、後継者問題、若者の東京集中に対して、多様性を認め、寛容になりつつ鯖江らしさを作っていく 	<ul style="list-style-type: none"> 市の施策についてPRが足りず、市民の理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 福井と武生をつなぐハブ的な自治体になれば福井県全体が盛り上がるし、嶺北視点で動けばもっといろんなことができると思う。 フォアキャストでなくバックキャストで作成した計画をいかに作るか。 あまり高い目標を置くのではなく、人口が減ることを受け止めた上で、それでも住みやすい鯖江をいかに目指していくかの方が良い。 計画を立てても実行する人がいないと意味がない。 		<ul style="list-style-type: none"> 地元の人が喜ぶ、便利な、幸せなまちであることが一番である。